

なるほど! ザ・ファンド

Q & A

Vol.255

Q.

ヘッジファンドってどんな運用をしているの？

A.

運用のプロが高度な投資手法を柔軟に利用し、自由度の高い投資戦略を行うことで、一般的に、市場環境によらず一定の収益率を獲得する運用を目指しています。

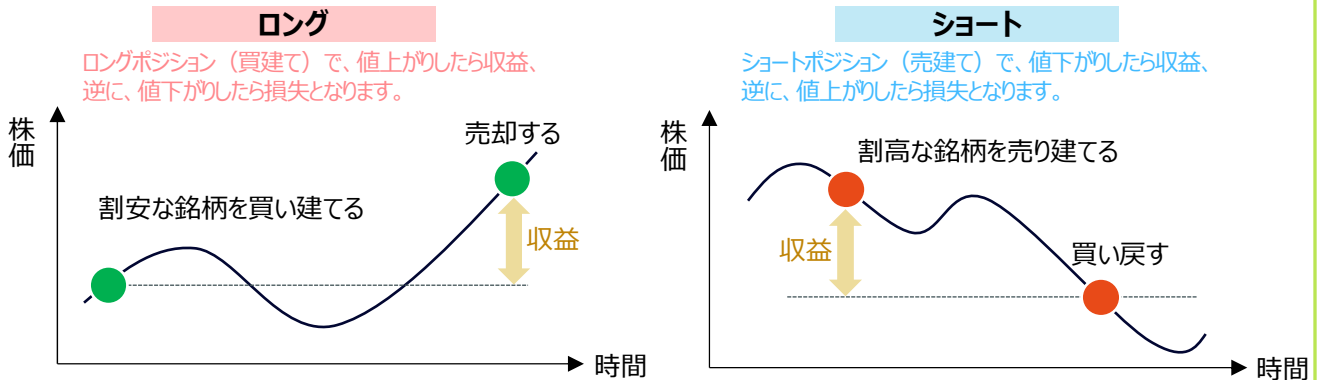
近年、伝統的資産とのリスク分散の目的などから関心が高まっている「オルタナティブ投資」の一つであるヘッジファンド。ヘッジファンドとひとことで言っても、株式ロングショートやグローバル・マクロなどさまざまな戦略があります。市場環境に応じて柔軟に投資ポジションを調整できるため、伝統的資産では得られにくい絶対収益の追求や下落局面でのリスクヘッジを可能とするものもあり、機関投資家や富裕層を中心に注目を集めています。

その中でも、株式の代表的なヘッジファンド戦略である「株式ロングショート戦略」について解説します。

株式ロングショート戦略

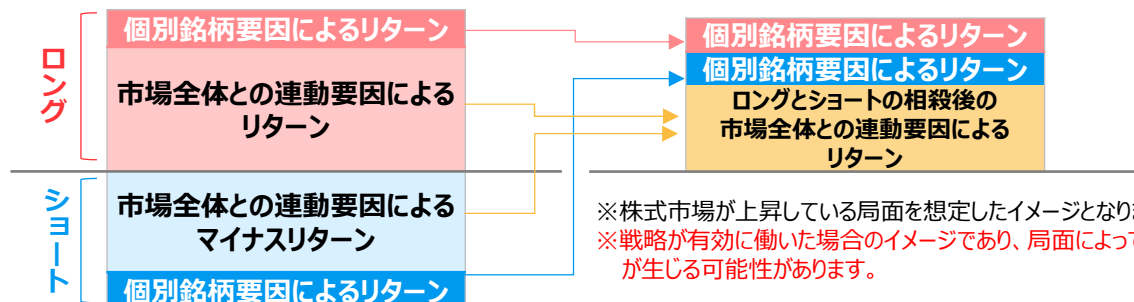
ロングポジション（買建て）とショートポジション（売建て）を組み合わせる運用を行う戦略です。

魅力① 相対的に割安とみられる銘柄を買い建てる一方、割高とみられる銘柄を売り建てて収益獲得を目指すため、市場全体の上昇・下落にかかわらず収益機会がある。



魅力② 市場全体の変動リスクを抑えながら、個別銘柄選択によるリターンを積み上げが期待される。

＜戦略が有効に働いた場合の収益獲得のイメージ＞



※株式市場が上昇している局面を想定したイメージとなります。
※戦略が有効に働いた場合のイメージであり、局面によっては損失が生じる可能性があります。

＜主なヘッジファンドの戦略分類と具体例のご紹介＞

戦略分類	概要	具体的な戦略例
エクイティ・ヘッジ (株式ヘッジ戦略)	個別株式の投資魅力に応じて、ロングポジション（買建て）とショートポジション（売建て）を組み合わせ、上昇・下落どちらの局面でも超過リターンを追求する戦略。	株式ロングショート 株式マーケットニュートラル
イベント・ドリブン (企業イベント活用型戦略)	企業買収、株式公開買付などの企業の特定イベントに伴う価格変動の歪みを利用して利益を追求する戦略。投資対象は株式や債券など。	アクティビスト 合併・裁定
マクロ (世界経済分析型戦略)	株式・債券・コモディティなど個別市場でロングショートのポジションを構築する戦略。マクロ経済分析や、トレンドなどの定量的分析などの活用により、市場の方向性を予測する。	グローバル・マクロ CTA (Commodity Trading Advisor)
レラティブ・バリュー (相対価値戦略)	個別銘柄のボラティリティ（価格変動性）などの適正水準と、実際の値との乖離に着目する戦略。乖離が解消される（正常化する）過程で収益を狙う。	債券レラティブ・バリュー ボラティリティ裁定

(出所) 各種資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。